

## 表題「消防職員意見発表会を開催しました」

### 令和元年度東近江行政組合消防本部消防職員意見発表会について

東近江行政組合消防本部では毎年、消防職員の自己啓発推進を目的に意見発表会を開催しています。この意見発表会は、消防職員が日々の業務の中で感じていることや、災害現場等で経験したことを通し、今後自分自身や消防の組織がどうあるべきか等の考えや決意を述べる場となっています。

今年度は、びわこ学院大学の丸山俊明教授を審査委員長とした6名の審査委員により、令和元年12月19日(木)、消防本部屋内訓練場において実施し、11名の出場者から優秀者2名が選出されました。

〈優秀者の発表内容〉

『優秀』2名（発表順位順）

・発表順位5番

消防士長 北岸大貴 『時代とともに』

新人の頃、厳しい訓練で、自信を失いかけたときに、火災現場の帰り道で厳しい指導をされていた先輩の「お前を信頼した」という一言に感銘を受けた。この事で厳しい指導や言葉が当たり前のように意識が変わっていった。時を経て、自分が若手職員に厳しく指導をすると、弱々しい返事が返ってくるだけで、パワハラと感じているように思えた。

ある講義で「内発的動機」という言葉を学び、現代の価値観を持っている若手職員にはこの「内発的動機」により消防を好きになることから入る指導へと時代とともに進化させ、誰もが頼れる消防を目指していくと発表した。

・発表順位10番

消防士長 中野宗亮 『人材の確保』

大量退職の時期が終わったとはいえ、少子化による絶対数の減少や職業の多様化、消防の人気低迷等から、人材確保は困難であり、過疎化が進む地方都市では深刻な問題となります。

このような中、積極的な採用行動が必要ですが、受験会場の複数設置やSNSの活用等の方法は、地方都市では、費用対効果が薄いと考えます。

そこで、地方都市の消防には、リファラル採用の導入を提案します。これは社員から人材を紹介してもらう方法で、これを参考とし、学校ごとの出身者が自身の出身校で受験を斡旋するものです。

この方法は地方都市でも確実に人材が担保でき、人材の確保に繋がります。取り組むべきは今なのではないでしょうか。住民の生命、身体、財産を守り、その精神を次に繋げるためにと発表した。

（その他の出場者については出場者一覧表のとおり）

なお、優秀者2名は、令和2年2月5日(水)に滋賀県消防学校で開催されます第45回滋賀県消防職員意見発表会に出場します。

# 令和元年度東近江行政組合消防本部消防職員意見発表会

## 出場者一覧表

発表 順位	所 属	階 級	名 前	題 名	備 考
1	八日市消防署	消 防 士	<small>サキザカコウセイ</small> 崎坂幸生	発信者として	
2	愛知消防署	消 防 士	<small>ヤスイ ジン</small> 安井 仁	「静」から「動」へ	
3	能登川消防署	消 防 士	<small>カガツメ イツキ</small> 加々爪一起	かけがえのない命	
4	日野消防署	消 防 士	<small>コモリ ユウヤ</small> 小森悠也	歩む	
5	警 防 課	消 防 士 長	<small>キタギシ タイキ</small> 北岸大貴	時代とともに	
6	能登川消防署	消 防 士	<small>イトウ ヨシト</small> 伊藤嘉人	奏でることば 響くころ	
7	愛知消防署	消 防 士	<small>コンドウ マサヒロ</small> 近藤雅浩	心の距離	
8	近江八幡消防署	消 防 士	<small>カワグテリョウタロウ</small> 川口遼太郎	未来へつなぐ 防災意識	
9	八日市消防署	消 防 士	<small>マツモト ナオキ</small> 松本直貴	言葉の意味	
10	日野消防署	消 防 士 長	<small>ナカノ ムネアキ</small> 中野宗亮	人材の確保	
11	近江八幡消防署	消 防 士	<small>コジ マタカヒロ</small> 小嶋貴裕	消防志	



